

伊達市公共施設等総合管理計画 個別施設計画

2019年3月

伊達市

目 次

第1章 個別施設計画の目的	1
1. 個別施設計画の位置づけ	1
2. 関連計画との関係	2
3. 計画期間	3
4. 長寿命化への取り組み	3
第2章 公共施設等の現状	4
1. 建築物系施設	4
2. 建築物系施設の長寿命化に関する計画類	9
3. 施設全体の現状に関する傾向	10
4. インフラ系施設	10
第3章 更新費用の試算と目標設定	14
1. 考え方	14
2. 更新費用の試算	15
3. 目標値の設定	16
第4章 費用縮減のための対策	18
1. 対策の種類	18
2. 実施事例	19
3. 対策の優先順位の考え方	20
第5章 施設別計画	21
1. 施設別計画の考え方	21
2. 施設別計画（建築物系）	22
第6章 まとめ	47
1. 施設別計画のまとめ	47
2. 行政改革との連動	47

図表 1	計画類の全体像	2
図表 2	公共施設等の長寿命化に関連する主な計画及び期間（今後10年間）	3
図表 3	施設カルテのフォーマット（サンプル）	4
図表 4	施設数と延床面積	5
図表 5	施設の老朽化度（耐用年数 - 経過年数）	5
図表 6	建物の安全性・機能性・環境性	6
図表 7	必需性スコア	7
図表 8	必要性スコア	7
図表 9	稼働状況（2017年）	8
図表 10	伊達市の人口推移と将来予測	14
図表 11	伊達市の人口推移	14
図表 12	2020年と2040年の人口比較	14
図表 13	経費（更新費用）の見込額（50年間）	15
図表 14	経費（更新費用）の見込額（7年間）	16
図表 15	長寿命化等の対策を行った場合の延床面積	16
図表 16	施設の維持管理経費の単純試算	17
図表 17	新末永団地（跡地）の位置	19
図表 18	新しい火葬場整備事業のスケジュール（予定）	20
図表 19	考慮すべき事項と優先順位の考え方	20

第1章 個別施設計画の目的

1. 個別施設計画の位置づけ

これまでに、本市では行政需要に応じて、学校、庁舎、市営住宅などの建築物系施設や道路、橋梁、上下水道などのインフラ系施設^(※1)を建設し、市民の生活基盤、地域コミュニティの拠点などとして大きな役割を果たしてきました。

しかし、厳しい財政状況が続く中、今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されることを踏まえ、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となっています。

また、今後、本市の公共施設等の改修や更新については、将来のまちづくりと資産のライフサイクルに基づき、適切な時期に適切な方法で進めていく必要があります。

このような状況の中、国において策定された「インフラ長寿命化基本計画（2013年11月）」に基づき、すべての地方公共団体は、建築物系施設、インフラ系施設などすべての公共施設等を対象とし、10年以上の長期の視点を持ち、かつ、財政見通しとLCC（ライフサイクルコスト）^(※2)に配慮した行動計画である総合管理計画を2016年度までに策定することとされました。

本市では、2016年3月に公共施設等の全体像を明らかにし、長期的な視点を持って、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的として「伊達市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」を策定したところです。

また、総合管理計画を基本とし、2020年度までのできるだけ早い時期に個別の施設毎の具体的な対応方針として個別施設計画を策定することとされており、本市では伊達地域と大滝区の地域特性を踏まえ、「伊達市公共施設等総合管理計画個別施設計画（以下「個別施設計画」という。）」を策定するものです。

(※1) インフラ系施設：道路、橋梁等の土木構造物や上下水道施設等生活基盤を形成する施設。

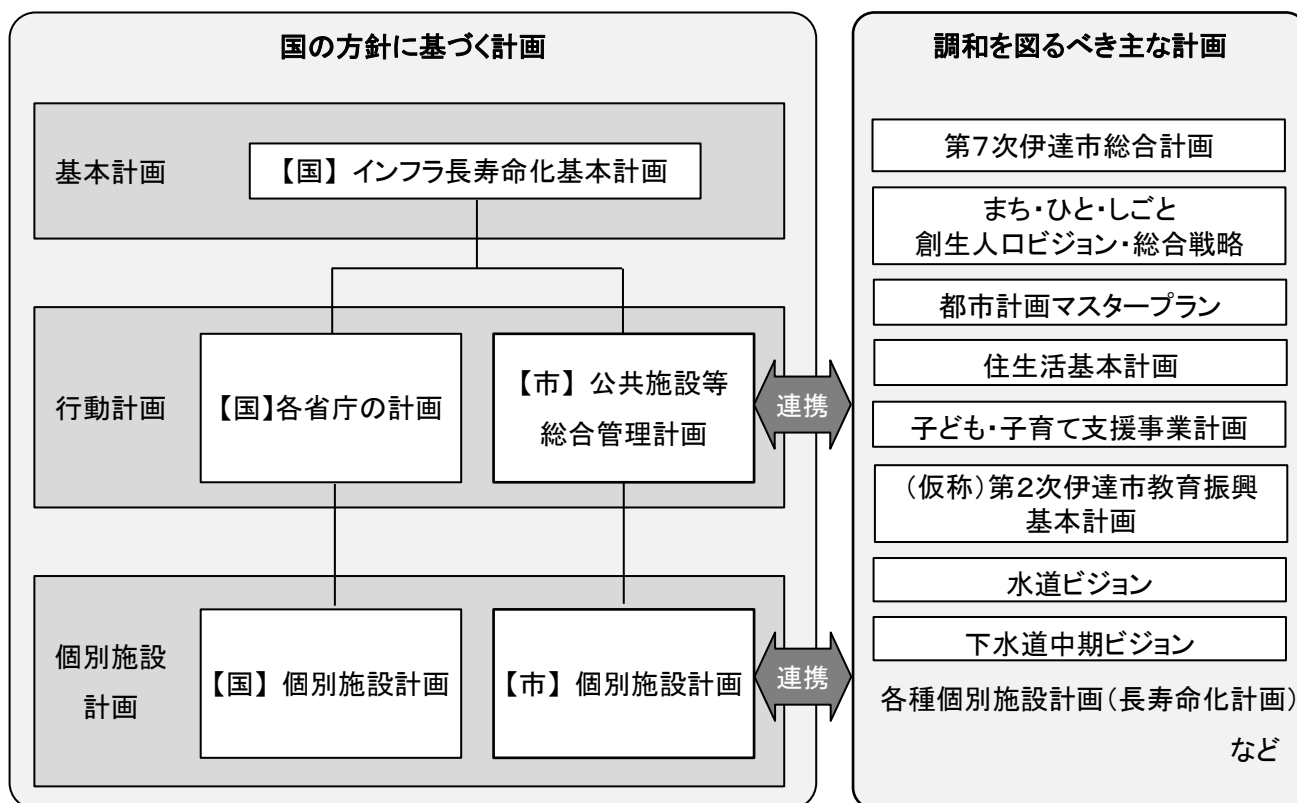
(※2) LCC（ライフサイクルコスト）：施設の建設・建築費だけでなく、維持管理・運営・修繕・処分までの事業全体にわたり必要な総費用。

2. 関連計画との関係

本市のまちづくりの最上位に位置付けられる「第7次伊達市総合計画」をはじめとする各種計画があり、本計画においてもこれらの計画との調和を図る必要があります。

各種計画類の全体像は、図表1のとおりです。

図表 1 計画類の全体像



3. 計画期間

個別施設計画の計画期間は、総合管理計画の終期に合わせて、2019年度から2025年度までの7年間とし、上位計画や関連する計画の策定・改訂状況や社会情勢の変化等に応じて、適宜見直しを図っていくこととします。

4. 長寿命化への取り組み

施設の長寿命化を推進するため、点検・診断、修繕・改修・更新により予防保全・機能改善に取り組んでいます。

点検については、施設の基礎的データや状態を取りまとめ、このうち特に重要な一部の施設については、現地調査（2018年10～11月に実施済み）を実施しております。また、伊達市役所庁舎及びカルチャーセンターについては、耐震調査・躯体調査を実施済みとなっています。

修繕・改修・更新については、長寿命化に加えて、耐震化、照明のLED化、エレベーター等のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化（車いす用トイレ・多目的トイレ、授乳室・託児室等）等についても検討・実施します

本市がすでに策定済若しくは今後策定予定の長寿命化関連の計画及び計画期間は図表2のとおりです。

図表 2 公共施設等の長寿命化に関連する主な計画及び期間（今後10年間）

施設分類	分野	計画名	計画期間 (年度)	年度										
				2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	
建築物系施設	住宅	伊達市公営住宅等長寿命化計画	2015～2024											
	学校	(仮称)伊達市学校施設長寿命化計画	2019～2028(予定)											
	社会教育施設	(仮称)だて歴史の杜カルチャーセンター中長期修繕計画	2019～2028(予定)											
	社会教育施設	(仮称)アートビレッジ文化館修繕計画	2019～2024(予定)											
	社会教育施設	(仮称)文化財施設維持管理計画	2021～2028(予定)											
インフラ系施設	公園	伊達市公園施設長寿命化計画	2018～2027											
	道路	市道舗装の個別施設計画	2018～2027											
	道路	伊達市管内道路照明修繕事業【個別施設計画】	2018～2021											
	橋梁	伊達市橋梁長寿命化修繕計画	2015～2024											
	橋梁	伊達市管内林道橋修繕事業【個別施設計画】	2017～2026											
	上下水道施設	伊達市上下水道施設更新基本計画	2015～2024											
	上下水道施設	(仮称)伊達市上下水道事業経営戦略	2020～2029(予定)											
	上下水道施設	(仮称)大滝区簡易水道事業経営戦略	2020～2029(予定)											
	上下水道施設	伊達終末処理場長寿命化計画	2017～2020											
	上下水道施設	大滝下水道管理センター長寿命化計画	2015～2019											
	上下水道施設	(仮称)伊達市下水道事業経営戦略	2020～2029(予定)											
	上下水道施設	(仮称)伊達市下水道ストックマネジメント計画	2020～2025(予定)											